

年内出しトルコギキョウの摘蕾次数が切り花品質と収穫後の日持ちに及ぼす影響

切り花品質は、摘蕾を高い次数小花まで行うほど、①切り花長は長く、②商品花蕾数は多くなるが、③軟弱な切り花となる。また、収穫後の日持ちは、2次小花まで摘蕾して仕上げた切り花は、頂花のみ若しくは1次小花まで摘蕾して仕上げた切り花と比べて劣る。その対策に RTF 苗を利用すると、慣行苗に比べて同じ切り花規格で日持ちに優れる。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室 (担当者: 工藤陽史)

研究のねらい

トルコギキョウの 11~1 月出しでは、切り花長および商品花蕾数の確保が難しいため、生産現場において、高い次数の小花までの摘蕾する場合がある。しかし、高い次数まで摘蕾して仕上げた切り花に対する消費者の評価は低い。そこで、摘蕾次数が切り花品質と収穫後の日持ちに及ぼす影響を明らかにして、切り花品質と収穫後の日持ちから最適な摘蕾次数を解明し、その対策を提示する。

研究の成果

1. 収穫日は、摘蕾次数を 1 つ増やすと 8~17 日遅くなる (表 1)。
2. 切り花品質は、摘蕾次数を増やすと切り花長は長く、商品花蕾数は多くなる。一方、切り花の剛直性を示す下垂は大きく、剛直性が劣る (表 1)。
3. 上位葉は、摘蕾次数を増やすほど小さくなる (写真 1)。
4. 収穫後の水揚げに差はないが、2 次小花まで摘蕾して仕上げた切り花は、頂花のみおよび 1 次小花まで摘蕾して仕上げた切り花と比べて小花および葉の萎れが早く、収穫後の日持ちが劣る (図 1、図 2)。
5. RTF 苗を利用すると、1 次小花までの摘蕾で切り花長 70cm、商品花蕾数 8 個確保することが可能で、収穫後の日持ちが優れる (表 1、図 1、図 2)。

普及上の留意点

1. 「ボレロホワイト」(中早生・八重咲き)を平成 24 年 8 月 22 日にビニルハウスに定植した試験結果。
2. 収穫後の日持ちは、切り花長 60cm に調整後に水道水に生け、水は毎日交換、25℃恒温室内、12 時間照明 (1,000lux) 下での試験結果。
3. RTF 苗については、農業の新しい技術 No. 650 (平成 24 年 5 月)を参照。

表 1 摘蕾段数が収穫日と切り花品質に及ぼす影響

試験区	収穫日	切り花長	切り花重	主茎長	頂花着花節	茎径	有効1次側枝数	商品花蕾数	下垂	
定植苗	摘蕾小花	(月/日)	(cm)	(g)	(cm)	(節)	(mm)	(本)	(cm)	
慣行苗	頂花のみ	10/30 c	58.8 d	57.4 b	34.6 c	7.0 c	5.0 ab	3.1	7.2 de	11.6 d
	1次小花まで	11/14 b	64.5 c	64.0 b	34.7 c	7.1 c	5.1 ab	3.4	9.6 bc	14.5 c
	2次小花まで	12/1 a	70.2 b	65.4 b	35.0 c	7.1 c	5.1 ab	3.0	9.7 bc	17.5 b
RTF苗	頂花のみ	10/24 b	62.6 c	45.0 c	39.5 b	8.0 ab	4.6 b	2.9	6.5 e	13.3 cd
	1次小花まで	11/2 c	72.3 ab	57.8 b	43.3 a	8.2 a	4.7 bc	3.2	8.2 cd	19.4 bc
	2次小花まで	11/17 d	73.1 a	79.0 a	38.1 b	7.9 b	5.2 a	2.8	12.2 a	21.3 a
F検定		**	**	**	**	**	**	ns	**	**

注1) 慣行苗: 本葉2~3枚展開苗、RTF苗: 本葉3~4枚展開苗

注2) 切り花長: 切り口から開花小花の先端までの長さ

注3) 下垂: 切り花剛直性の指標(切り花の基部を水平に持った時の水平面と切り花先端の距離)

注4) **: 1%水準で有意、ns: 有意差なし

注5) 異なる英小文字は、Tukey法で5%の有意差があることを示す



頂花のみ摘蕾

1次小花まで摘蕾

2次小花まで摘蕾

写真1 摘蕾段数が切り花品質に及ぼす影響

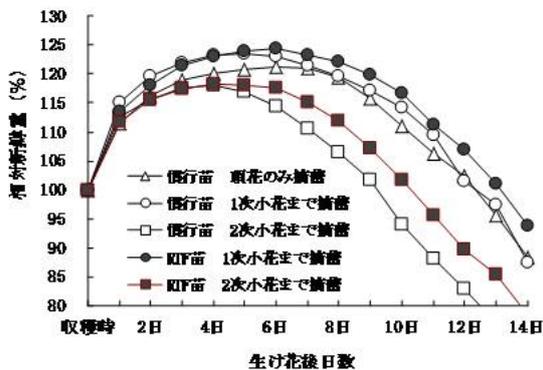


図 1 収穫後切り花の相対新鮮重に及ぼす影響

注 1) 相対新鮮重=測定時切り花重/収穫時切り花重×100

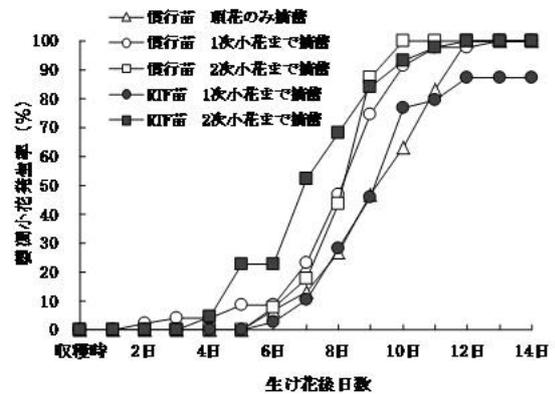


図 2 収穫後切り花の萎凋小花発生率に及ぼす影響

注 1) 萎凋小花発生率=萎凋小花数/収穫時開花小花×100